

第3回・1F 廃炉の先研究会 開催案内

1. 開催にあたって

前回(2019年10月11日)の第2回1F廃炉の先研究会では、日本原子力学会・廃炉検討委員会委員長の宮野廣先生(法政大学)をお迎えし、日本原子力学会・廃炉検討委員会での1F廃炉事業の今後の見通しや最終の形(end state)に関する取りまとめの状況について、特にend stateの考え方や難しさ、そして4つのシナリオについて講演頂きました。

宮野先生の講演とその後の活発な議論により、1F廃炉事業の現況と一般的な理解との乖離、1F廃炉事業がいかに困難なプロジェクトなのかが確認できました。そして、1F廃炉の先をどう描くのか、どのように地域社会とともに考えていくことができるか等、本研究会として検討すべき課題が見えてきたように思います。

そこで、第3回研究会では今後の検討すべき論点を絞ることを念頭に、1F廃炉に関する技術的課題を井上正先生に報告いただき、世界の廃炉事業の動向とイギリス廃炉事業における地域対話の事例報告(朱鈺・松岡研究室D2)をし、論点の整理を行いたいと思います。

皆さまのご協力をお願い申し上げます。

2. 日時・会場

日時：2019年12月20日(金)18:00-20:30(会場オープン17:30)

会場：早稲田大学19号館713会議室(7階)

<https://www.waseda.jp/gsaps/access/>

3. 議題

- (1) 第1回研究会議事録について
- (2) 1F廃炉の主要な論点に関する報告：井上 正
- (3) 世界の廃炉事業の動向とイギリス廃炉事業における地域対話に関する報告：朱 鈺
- (4) 今後の研究会予定について
 - 第4回：2020年1月1/15(水)
 - (※第5回ふくしま学(楽)会@福島県：2020年1月26日(日))
 - (※第9回原子力政策・福島復興シンポジウム@早稲田大学：2020年3月7日(土))
 - 第5回：2020年4月 or 5月
 - 第6回：2020年6月 or 7月(最終回予定)
- (5) その他

4. 研究会メンバー

研究会代表

松岡俊二：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授(環境経済・政策学)

研究会副代表

森口祐一：東京大学大学院工学系研究科教授(環境システム工学)

研究会メンバー

小林正明：東京大学大学院法学政治学研究科客員教授

井上 正：一般財団法人電力中央研究所・名誉研究アドバイザー

崎田裕子：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長、ジャーナリスト

吉田恵美子：NPO法人ザ・ピープル理事長、いわきおてんとSUN企業組合理事長

菅波香織：弁護士

柳川玄永：三菱総合研究所原子力安全事業本部復興・再生グループ主任研究員
安部 良：安部良アトリエ一級建築士事務所、明治大学理工学部建築学科兼任講師
勝田正文：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授（機械工学）
師岡慎一：早稲田大学大学院先進理工学研究科特任教授（原子力工学）
黒川哲志：早稲田大学社会科学総合学術院教授（行政法）
小野田弘士：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授（環境工学）
永井祐二：早稲田大学環境総合研究センター研究院准教授（環境工学）

5. オブザーバー・メンバー(11名予定)

6. 事務局

CHOI Yunhee：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程3年
山田美香：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程3年